

令和3（2021）年10月22日

報道機関 各位

枚方市提供

### 株式会社エフエムひらかたの解散について

FMひらかたは、阪神淡路大震災を契機に、災害時の市民への情報伝達手段として枚方市が中心となって、多くの企業、団体、個人の協力の下、1997年1月15日に地域コミュニティFMラジオ放送局として開局しました。以降、24年以上にわたり、毎日24時間放送を続けています。また、平常時には、魅力的な番組作りに取り組み、本年6月に、国内で最も権威ある賞とされるギャラクシー賞ラジオ部門の年間賞を受賞（昨年1年間の全国のラジオ番組から8番組のみ選出）しております。

しかしながら、災害時にはラジオが唯一の情報伝達手段であった状況から、インターネット等の普及により、即時性のある情報伝達手段の多様化が進み、ラジオの聴取率が低迷するなどFMひらかたを取り巻く社会状況が大きく変化しています。

枚方市では、持続可能で魅力のあるまちづくりを進めるうえで、行財政改革や事業見直しに継続して取り組んでいますが、こうした社会状況の変化を踏まえ、FMひらかたへの放送委託についても効果検証を行い、令和2年6月に令和3年度（放送委託料5000万円）をもって、同社への放送委託の廃止を決定しています。（別添資料参照）。

当該委託の廃止は同社の経営に大きな影響を及ぼすことから、自立運営の可能性や事業譲渡の可能性の検討について協力し、取り組んできましたが、可能性を見出すことがかなわず、同社より令和4年3月末の解散に向けて手続きを進める旨の報告を受けましたので、お知らせします。

枚方市では、災害時の情報伝達手段としてインターネットやSNSの活用とあわせて、令和3年度から固定電話への自動音声配信システムの導入を進めていますが、引き続き効果的な手法を研究し、情報伝達手段の充実に向けて取り組んでまいります。

なお、FMひらかたからの報告概要は以下のとおりです。

#### 1. 自立経営等に向けた可能性検討内容

市委託の廃止を受け、災害時における情報伝達手段に代わる新たな目的のもと、民間企業等の新たな経営主体による安定経営を確保するための取り組みを進めてきました。

##### (1) 市に代わる新たな経営主体の検討

企業等の情報発信のための放送局として再出発するため、企業等数社と協議・調整を行ってきましたが、市に代わる新たな経営主体となる企業を見出すことができませんでした。

## (2) 事業譲渡に向けた検討

- ① M&A を手掛ける弊社役員企業に譲渡希望企業の探索を依頼しましたが、希望する企業は見出せませんでした。
- ② 経済産業省所管の大阪府事業引き継ぎ支援センターに支援を依頼し、M&A 事業者と面談を行いました。株式譲渡価格の大幅な減額提案や譲渡までの調整に長期間を要するなど経費負担が増加する課題があることから、当該センターを通じた譲渡については株主の利益に繋がらないと判断しました。
- ③ 株式取得を希望する企業と直接協議を進めてきましたが、最終的に諸般の事情により辞退する旨の申し出があり譲渡に至りませんでした。

## 2. 解散に向けた今後のスケジュール

- (1) 令和4年2月末日で放送を停止（閉局）する。
- (2) 令和4年3月に臨時株主総会で、会社の解散決議を行い、3月末日で解散する。
- (3) 4月以降、清算業務を行い、残余財産を株主に分配し、令和4年秋頃までに清算終了手続きの完了をもって会社廃業となる。

## 3. その他

FM ひらかたでは、同社解散のリスナーへの告知を10月25日(月)以降に放送番組の中で行う予定であることから、情報解禁日を10月25日としております。ご理解のほどよろしくお願いたします。

以上

<お問い合わせ先>

市広報プロモーション課 TEL072-841-1258 FAX072-846-5341  
株式会社FMひらかた TEL072-843-0081 FAX072-843-8686